



No. 129 (平成30年7月2日)

おもな内容

随 想	1
研修講座寸描	2
研修室だより	3
研究協力校の紹介	4～5
夏季研修講座の一覧	5
教育講演会、 出前講座の紹介	6
受講後アンケートの結果、 Web サイト紹介	7
心に残る授業 その77、 人事短信	8

三年生の道徳の授業では、自分の責任ある行動について考えさせるために、「理想の大人」という具体的な視点を設定し、登場人物の行動における課題を論点とした授業を行いました。(旭川市立桜岡中学校)

随 想

EQ 覚えてますか？



上川教育研修センター

所長 佐藤 保

古い話で恐縮ですが、今から二十年ほど前だったでしょうか、「EQ」が話題になりました。記憶にある方もいらっしゃると思います。

『EQ』(こころの知能指数)が全米でベストセラーとなり、日本でも話題になりました。

EQ (Emotional Quotient) とは、I Q (Intelligence Quotient) に対置する考え方として、自制や熱意、忍耐、意欲、共感といった心の働きのことのことです。

話題になった当時、学生時代に成績の良かった人が必ずしも社会で活躍していない例を挙げて、「出世する人はIQよりもEQの方が高いんだって」「学校の成績がダメでも、EQを高めればいいんだって」といった解釈で、TVのバラエティ番組が盛り上がりつつあったように記憶しています。

平成二十九年三月に告示された新学習指導要領では、次のような資質・能力の育成が目指されています。

- (1) 知識・技能の習得
 - (2) 思考力・判断力・表現力等の育成
 - (3) 学びに向かう力、人間性等の涵養
- 学校教育法で示されている学力の三要素に沿ったこれらは、大きく分けてみれば

ば(1)・(2)は認知的な能力、(3)は情意や態度等の非認知的な能力と言えます。とりわけ(3)の文言からは、学力の三要素の一つ「主体的に学習に取り組む態度」を一步進めて、(1)・(2)の認知的な能力をどのような方向性で働かせていくべきかを示していると考えられます。非認知的な能力の育成をこれまで以上に強調しているように、私には思えます。

近年の認知心理学の研究によれば、非認知的な能力は人生の成功において極めて重要な役割を果たし、その能力は一人から学び、獲得するもの。だそうです。子ども達の学習と生活の場である学校は、学び合うことで認知的な能力を高めるとともに、非認知的な能力を培う大切な場所と言えるでしょう。

時代によって言い方は変わっても先のEQなど非認知的な能力を培い伸ばすことは今日、益々重要で、学校にとつては教育課程編成上の横断的な課題となるように思います。

- ① ダニエル・ゴールドマン、講談社、1996
 - ② 中室牧子『学力』の経済学』、p87
- デイスカバー・トエンティワン、2015



5年外国語活動「What's this」(東川町立東川小学校)

センター日記

- 4月1日 新任所員就任
 - 4月12日 研修講座講師委嘱状交付式
 - 4月13日 講座内容研究協議会
 - 4月26日 パソコン講座運営委員会
 - 5月9日 研修講座開始
 - 5月23日 パソコン講座開始 (特別支援教育①)
 - 7月2日 センターだより第129号発行
- ※ 毎週火曜日 定例研究室会議
- ※ 随時 研修講座講師打合せ会議

研修講座
寸描 その1

委嘱状交付式、 講座内容研究協議会



四月十二日、三十四講座の講師八十一名にお集まりいただき、今年度の研修講座の講師委嘱状交付式及び講座内容研究協議会を開催しました。

上川教育研修センター組合教育委員会 赤岡昌弘教育長（旭川市教育委員会教育長）から講師代表である旭川市中学校長 伊東義晃会長（旭川市立中央中学校長）へ講師委嘱状を交付いたしました。

その後の講座内容研究協議会では、教職員等の資質・能力の総合的な向上を目指して、各講座の講師と運営者が意見を話し合い、講座の内容や日程等について話し合いを行いました。

五月九日の「特別支援教育①」研修講座を皮切りに、今年度の研修講座がスタートしています。

2 特別活動 5/10

講座の様子から

特別活動は、望ましい集団活動を通して人間形成を図る教育活動なので、学級経営においても重要な役割を果たすことを改めて再確認しました。よりよい生活や人間関係を作り、自分の生き方について考える活動を工夫したいと感じました。（富良野市立東小学校 須郷 さや香）



綿木 尚弘（台場小 教頭）
小野崎 貴子（永山中 主幹）
石川 桂子（東五条小 教諭）
佐竹 浩明（光陽中 教諭）

講師

3 読書活動 5/15

千葉 昌之（知新小 教頭）
六本木 典子（高台小 教諭）



講話の中で読書活動を推進するための取組を具体的に示していただき、学校全体でそろえて組織的に活動することの大切さを感じました。また、研究授業・実践交流の中で様々な取組を知ることができました。御指導ありがとうございました。

（旭川市立千代田小学校 高橋 遼）

上川教育研修センター 第17次研究2年目スタート

上川教育研修センター第17次研究2年目がスタートしました。1年目の成果と課題を踏まえ、「深い学びを実現する学習指導の在り方」について研究を行います。皆様から多くの御意見をいただきながら研究を進めてまいります。6月には研究員、9～11月には研究協力校4校による授業実践を行います。各校に御案内させていただきますので、多くの皆様の御参観をよろしくお願いいたします。

研究主題

深い学びを実現する学習指導の在り方

～各教科における主体的・対話的な学びを通して～

求める児童生徒像

各教科等において生きて働く「知識・技能」を習得し、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を高めながら、「主体的に学習に取り組む態度」を身に付けた児童生徒。

研究の仮説

目標と手立てが合致した単元の指導計画及び具体的な子どもの姿を見取る評価計画を作成するとともに、自己の学習を見直し振り返る主体的な学びと、思考を広げ確かな学びに向かう対話的な学びを重視した本時の授業展開を工夫することにより、児童生徒の深い学びを保障できるであろう。

研究内容

【研究内容1】

単元の指導計画・評価計画の作成

(1) 指導計画

- ①指導内容の明確化
 - ・学習指導要領を基にした分析
 - ・目標・課題・まとめ・評価の整合
- ②深い学びを実現する単元構成
 - ・深い学びを充実させる条件
 - ・主体的・対話的な学びの位置付け

(2) 評価計画

- ①評価内容の焦点化
 - ・観点別評価
 - ・指導に生かす評価・記録に残す評価
- ②見取りの具体化
 - ・児童生徒の具体的な姿
 - ・評価の場面と方法

【研究内容2】

本時の授業展開の工夫

(1) 主体的な学び

- ①見通し
 - ・学習課題の提示
 - ・課題解決の方法や手順
- ②振り返り
 - ・学びの成果
 - ・解決の過程

(2) 対話的な学び

- ①思考を広げる対話
 - ・論点の明確化
 - ・互いの考えの見える化
- ②確かな学びに向かう対話
 - ・教科の特性に応じたまとめ
 - ・思考の活性化

学びの基盤

支持的風土の醸成

教室環境の整備

学習規律の確立

平成30年度「研究協力校の紹介」

比布町立比布中学校

〔研究主題〕
「習得した知識・技能を活用して思考力・判断力・表現力を高める生徒の育成」
～ICTの活用と対話的な学びによる授業改善を通して～

一 研究の重点

生徒がタブレットを活用することを通して、情報活用能力など教科横断的な資質・能力を身につける。そのために教師の活用能力を高める。また対話的な学びを通して、自己の考えを広げ深める。

二 研究の内容

- ① タブレットを活用した授業の展開
- ② 対話的な学びを取り入れた授業

三 研究の計画

- 4・5月 研究内容・計画の共通理解
ICTの技能習得に関わるミニ研修
(1月まで)
- 6月～ 一人一回の研究授業(1月まで)
指導案検討
全校研
- 9月 10・11月 研修センター1研究協力校授業実践
全校研
- 1・2月 研究のまとめ 次年度に向けて



旭川市立朝日小学校

〔研究主題〕
「子供が主人公の学習を創造する」
～主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善～

一 研究の重点

児童が「深い学び」に至るために、「どのように学んでいく子にしたいか」「どんなことを理解させたいか」という「目的意識」を教師が明確にもち、それをしっかりと位置付けた単元レベルの授業づくりを進める。

二 研究の内容

- ① 研究内容1「見通し」をもたせる工夫
【研究内容1】「見通し」をもたせる工夫
①ゴールイメージをもたせる学習課題・問題の提示の工夫
②プロセスイメージをもたせる展開の工夫
子供が主人公の学習Ⅱ：子供が、追従心をもって、意欲的にとりくむ学習
- ② 研究内容2「学びをつなぐ教師のはたらきかけ」
【研究内容2】「学びをつなぐ教師のはたらきかけ」
①意図を明確にした質の高い発問
②工夫を凝らした活動や学習空間の設定
子供が主人公の学習Ⅲ：子供が、学んだ成果を実感し、次の学びにつながる意欲もてる学習
- ③ 研究内容3「丁寧で確かな振り返りの設定」
【研究内容3】「丁寧で確かな振り返りの設定」
①学習内容が確認できる振り返り
②学習内容の関係付け・一般化ができる振り返り
③自己変容が自覚できる振り返り

三 研究の計画

- 4月 研究内容・研究計画の共通理解
- 9月 授業研(上川研修センター1研究協力校提供授業・研究協議)
- 11月 全体研修(指導案検討)・「朝日の教育」実践発表会
- 2月 授業研・研究協議・研究のまとめ、次年度の研究の方向性について
- 3月 次年度の研究内容についての提案・検討
- 5～1月 プロジェクト研修



旭川市立大町小学校

〔研究主題〕
「自分の考えをもって互いに高め合う子の育成」
～国語科「読むこと」の学習における学び合いを通して～

一 研究の重点

適切な言語活動を設定し、他者との関わりによって自分自身の学びの深化や成長を実感する学びである「学び合い」を通して、読みを広げたり深めたりする授業の構築

二 研究の内容

- ① 言語活動を位置付けながら、系統立った学びを展開しよう
- ② 学び合いのある授業を展開しよう
- ③ 学びを支える土台を作ろう

三 研究の計画

- 4月 研究内容の共通理解、日常の実践開始
- 5月 全校研1、授業作り、研究授業、事後研修
- 6～7月 全校研2、授業作り、研究授業、事後研修
- 7～9月 実践研究会、授業作り
- 9月 11～1月 研修のまとめ 特別支援研究授業、特別支援学習会、実技研
- 2月 次年度の研究について



旭川市立高台小学校

(研究主題) 進んで学び、考え、深め合う子供の育成
(算数科を窓口にして)

一 研究の重点

算数科の授業において、ねらいを明確にした課題提示・教材の工夫や思考するための手立てを充実させることにより、課題解決に取り組む意欲を高め、互いに伝え合う子供の育成を図る。

二 研究の内容

① 課題解決に進んで取り組むための手立て
・見通しをもたせ方(課題提示、課題解決の方法や手順)
・問題意識が持続する授業展開

② 考えをもち、互いに伝え合うための手立て
・考えを深めたり広げたりする対話
・確かな学びに向かう対話

三 研究の計画

4月 研究計画・研究体制
5月 研究内容の共通理解・理論実践研修
8月 実技研修
9月 全校研 指導案検討
10月 研修センター研究協力校授業実践
11月 全校研 事後研究協議
12月 理論実践研修
2月 今年度の研究のまとめ・次年度の方向性



夏季休業を利用して研修を深めませんか？

夏季休業中及び夏季休業直後の研修講座申込みを随時受け付けております。
希望される場合は当研修センターへFAX(0166-24-2512)でお申込みください。

開催期日	研修講座名	会場	備考
7月26日(木)	国語科指導①	研修センター	2回目 9月4日(火)
7月27日(金)	算数・数学科指導①	研修センター	2回目 8月30日(木)
7月27日(金)	生活科・総合的な学習の時間①	研修センター	2回目 9月4日(火)
7月30日(月)	幼小連携教育	研修センター	
7月30日(月)	いじめ・不登校	研修センター	
7月31日(火)	道徳教育①	研修センター	2回目 8月28日(火)
8月1日(水)	生徒指導①	研修センター	2回目 9月5日(水)
8月1日(水)	理科指導①	研修センター	2回目 8月28日(火)
8月2日(木)	社会科指導①	研修センター	2回目 10月5日(金)
8月3日(金)	学校力向上対策	研修センター	
8月3日(金)	外国語(英語)指導①	研修センター	2回目 9月3日(月)
8月6日(月)	学校事務実務	研修センター	
8月6日(月)	学校で役立つタブレットPC入門②	研修センター	パソコン講座
8月8日(水)	教育講演会	大雪クリスタルホール	本紙6ページ参照
8月9日(木)	授業で役立つタブレットPC活用②	研修センター	パソコン講座
8月10日(金)	校務で役立つタブレットPC活用①	研修センター	パソコン講座
8月10日(金)	ミニ道研A	上川教育局	道研遠隔研修

～夏季休業終了直後に開催予定の研修講座～

8月22日(水)	技術・家庭科指導(実技)	東栄小	今年度は小学校の授業公開
8月23日(木)	I C T活用	旭川第2中	今年度は中学校の授業公開
8月28日(火)	理科指導②	西御料地小/神居中	
8月28日(火)	道徳教育②	向陵小/北星中	
8月29日(水)	保健安全指導	旭川中	今年度は中学校の授業公開
8月30日(木)	算数・数学科指導②	旭川小/東神楽中	
8月31日(金)	体育科指導(実技)	忠和中	今年度は中学校の授業公開

上川教育研修センター

教育講演会

▶と き 8月8日(水) 13:30~16:30
(開場:13:30, 講演開始:14:00)

▶ところ 旭川市大雪クリスタルホール 大会議室
(旭川市神楽3条7丁目)



演 題

「主体的で対話的な道德授業づくり」

講 師

明治大学文学部
教授 諸富 祥彦 氏

【講師紹介】

- 1963年 福岡県生まれ。
- 1986年 筑波大学人間学類卒業。
- 1992年 同大学院博士課程修了。英国イーストアングリア大学、米国トランスパーソナル心理学研究所客員研究員、千葉大学教育学部講師、助教授(11年)を経る。
- 現在 明治大学文学部教授。教育学博士。

【主な著書】

- 「[知の教科書 フランクル] (講談社選書メチエ)
- 「[問題解決学習]と心理学的『体験学習』による新しい道德授業」(図書文化)
- 「[悩みぬく意味] (幻冬舎新書) ほか多数

教育界には課題が山積しております。ぜひ「教育講演会」に御参加いただき、お一人お一人が抱える課題の解決に努めていただければと考えております。多数の皆様の御参加をお待ちしております。なお、申込みは、当研修センターにFAX(0166-24-2512)でお申し込みください。

「出前講座」を御活用ください！

教科指導をはじめ、生徒指導・特別支援教育・今日的な教育課題・パソコン実技・各種実技指導など、各学校の校内研修や教育研究団体の様々なニーズに合わせて、選りすぐりの講師を派遣しています。ぜひ、御活用ください。

申込は、随時受付けております。「研修講座開催要項」p.31に掲載しております「出前講座申込書」に必要事項を御記入の上、直接当センターへFAXで送付してください。

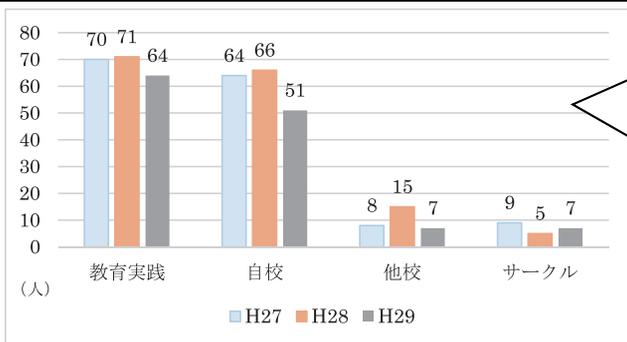
講座内容例

今日的な教育課題	学力向上, 道德教育, 幼小連携, 小中連携, ICTの活用など
教科等指導(国, 算等)	指導計画, 評価, 言語活動等, 校内研究にかかわる事項など
小学校外国語活動	様々なアクティビティ, ALTとの効果的な指導の在り方など
各種実技指導	合唱(音楽), 毛筆(書写), 器械運動(体育)など
生徒指導	教育相談, 構成的グループエンカウンター, 教育相談など
特別支援教育	各種発達障害の理解, 個別の支援計画, 交流および共同学習など
パソコン実技	表計算, 画像処理, プレゼン, タブレットPC使用方法など

平成29年度受講後アンケートの集計結果 ~御協力ありがとうございました~

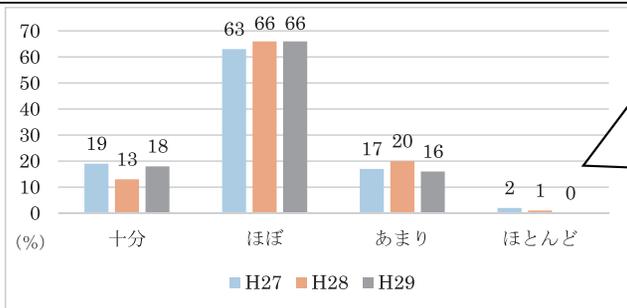
当研修センターでは、研修講座の受講後2~3か月を目途に御回答いただく「受講後アンケート」を実施しております。お忙しい中にもかかわらず御協力をいただきまして、ありがとうございました。昨年度の結果をまとめましたので、お知らせいたします。

設問1 研修終了後、児童生徒や同僚教職員、他の学校の教職員等に研修成果を発信することができましたか。



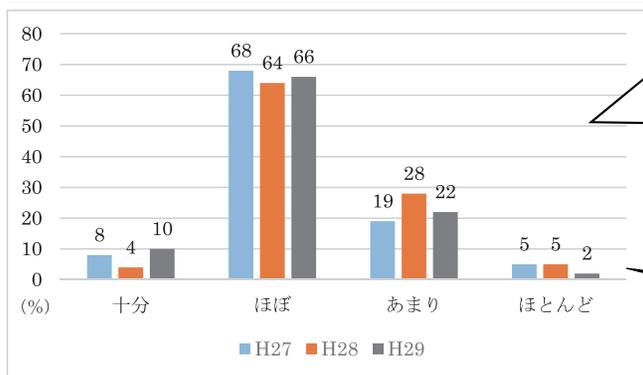
平成29年度も、6割以上の受講者に、研修の成果を日常の教育実践に生かしたり、自校の教職員へ情報を発信したりしていただいたことがわかりました。今後も、研修の成果が、受講者はもちろん広く教育現場に生かされるような講座をめざして一層努力してまいります。

設問2 研修終了後、自校や校外研修会等で、研修内容を活用し、自己の指導内容や方法の工夫改善ができましたか。



「十分にみられた」「ほぼみられた」を合わせると、およそ8割の受講者から自己の指導内容や方法の工夫改善ができたという回答をいただきました。授業形態や学習過程の工夫、児童の主体的な活動を促す指導など、具体的な工夫や改善策の記述が多数見られました。今後も日常の実践にすぐに生かすことができる講座内容となるよう努めてまいります。

設問3 研修内容を広げたり活用したりした結果、児童生徒や対象の教職員に効果や変化が見られましたか。



教職員間での共通理解の下、児童生徒の興味関心や学習意欲の向上につながった、校内研修や授業改善の一助となった、という内容の記述が見られました。今後も自他の効果的なかわりを見いだすことができる講座内容となるよう努めてまいります。

およそ2割の受講者から「あまりみられなかった」「ほとんどみられなかった」という回答をいただきました。「変容を見るには、もう少し時間が必要」「情報の発信のみで、具体的な活動ができなかった」など、今後の継続的な取組に期待する記述が多く見られました。

本年度も「受講後アンケート」を実施いたします。受講後2~3か月を目途に、当研修センターWebサイト上で、御回答ください。パソコンはもちろん、タブレットや携帯端末からも御回答いただけます。今年度も御協力をよろしくお願いいたします。

Webサイトを御利用ください！

<http://kami-cen.hs.plala.or.jp/>

今年度の講座一覧や要項・申込書、研究紀要等がダウンロードでき、過去の研修講座の様子やセンターだよりを見ることもできます。また、センターで所蔵している資料名を閲覧できるので、お探しの資料があれば貸出することもできます。さらに、施設の使用や宿泊についても詳細を見ることができるので、ぜひ、御活用ください。



心に残る授業

その⑦



旭川市教育委員会
教育指導課主査
秋元 秀夫

地域の素材を教材化し、子どもたちが興味・関心をもって学習に取り組めるよう工夫された社会科の授業を見せていただくことがあります。

今回紹介させていただくのは、地域に伝わる伝統的な織物を製造する工場を取り上げた小学校三年生の生産の仕事の授業です。

授業が始まると先生は、前時までに追究してきた仕事の工程などについて、子どもたちと確認していききました。見学したことやインタビューしたこと
を思い出させることにより、織物を完成させるために様々な工夫が行われていることを実感する子どもたちの姿が見られました。

確認が一通り終わったとき、先生は、この織物を使う地元の人が減ってきており、織物を作る工場も減ってきているという新たな事実を伝えました。そ

して、「将来、この織物が無くなるのはしかたがないことなのだろうか。」と問いかけました。

この発問に対し、始めは「無くしたくない。」と発言した子どもがいました。「無くしたくないと言うだけでは、使う人は増えないのではないか。」という友達の発言を受け、終末では「手間をかけて作っていることや、品質が良いことなど、この織物のことを学校や地域の人に伝えてみたい。」という発言に変わっていききました。

昨年三月に告示された小学校学習指導要領には「社会的現象の特色や意味、社会に見られる課題などについて、多角的に考えたことや選択・判断したことを論理的に説明したり、立場や根拠を明確にして議論したりするなど言語活動に関わる学習を一層重視すること」と示されています。

そのためには、この授業のように、追究したことを手がかりに人々の仕事の様子などを捉えさせた上で議論などをさせることが重要であると考えます。まさに、今求められていることを子どもの姿で示した授業であったと感じました。

人事短信

新任



副所長
福家 尚

三度目のセンター勤務です。管内の教育振興のために力を尽くしてまいります。よろしくお願いいたします。



研究事業部長
清水 忠明

管内の各学校、先生方に活用いただける研究を発信できるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



指導員
山中 芳子

研修講座や出前講座が管内の皆様の研修、子供達のためにまいります。よう、努力してまいります。よろしくお願いたします。



研究員
当麻小 齋藤 邦彦

管内の各学校や先生方に活用していただける研究を目指し、努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



研究員
永山南小 吉野 和気

上川管内の各学校や先生方に御活用いただける研究を目指し、努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

平成三十年年度就任・退任研修センター所員を紹介します。

事務係

上光さゆり



所長をはじめ、研修センターの方々のために一生懸命、頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。

退任 お世話になりました

- ・前 所 長 奥山 ゆみ子
- ・前 研究事業部長 石ヶ森 孝順 (旭川市立西御料地小)
- ・前 指導員 増子 淳一 (旭川市立東町小)
- ・前 研究員 川村 貴弘 (旭川市立大有小)
- ・前 研究員 齊藤 悦代 (旭川市立神楽中)
- ・前 研究員 馬場 大輔 (旭川市教育委員会教育指導課)
- ・前 事務係 小林 晴美

発行日 平成三十年七月二日
 発行 上川教育研修センター
 〒070-0036
 旭川市六条通四丁目
 電話(0126)24-2501
 印刷所 佐藤 保
 東信印刷株式会社

※この用紙は再生紙(古紙70%)を使用しています。